

事業実績シート（研修及び調査・研究）

1 事業の概要

協会事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 研修機関派遣事業 (<input checked="" type="checkbox"/> 市町村アカデミー <input type="checkbox"/> 国際文化アカデミー <input type="checkbox"/> NERC) <input type="checkbox"/> 地方4団体研修及び調査・研究事業			
自治体(団体)事業名	五島市			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	五島市	総務課	貞方 和市	0959-72-6111
事業期間	開始年	平成16年 8月 1日 (12年目)		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日) 27年 7月 21日 (完了日) 27年 12月 9日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
研修及び調査・研究の目的 ※実施前に予想していた目標・目的を記載ください。	対象(誰を・何を)	目標・目的		
	全職員	人口減少による社会経済構造の変化、コミュニティ基盤の弱体化等の諸課題に的確に対応するため、これまで以上に的確な現状分析、将来予測に基づいた政策立案や行政サービスの提供、住民との協働が求められている中、特定分野における専門的能力を有し、幅広い視野と判断能力を持った職員の育成を目指す。		
研修及び調査・研究の具体的な内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように記載してください。	市町村職員中央研修所で実施されている政策や制度運用に関する研修の中から、五島市が抱える政策課題に対応する研修科目を選択し職員を派遣している。 職員を派遣する際は、受講負担金及び旅費を支給しており、年度内に予定している研修の受講が全て終了後、長崎県市町村振興協会へ助成金の申請を行い派遣事業の助成を受けている。			
	(事業開始の背景) 住民の行政に対するニーズが複雑化・多様化しているため、個々の職員が高度な専門能力や特定の分野における高度な業務対応能力を身に付け、組織全体を住民サービスに資する有能な集団とする必要があるため。			
研修及び調査・研究の背景、これまでの経緯及び現状	(経緯・現状) 市町村職員中央研修所には、例年5名程度の職員を派遣しており、これまでに多くの職員が受講し資質向上を図っている。 市町村職員中央研修所の研修は、研修期間が比較的長期であるため、高い問題意識と専門性・創造性を身につけるとともに、全国の自治体職員との人脈形成や情報交換の機会となることも大きな利点となっており、職員派遣は五島市の研修事業において大きな役割を果たしている。			

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算			
(財源内訳)	事業費（円）	710,004	494,255	629,551			
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	市町振興共同事業助成金	473,334	329,503	419,699			
一般財源		236,670	164,752	209,852			
指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
目標・目的指標	① 市町村職員中央研修所への派遣職員数	職員5名派遣	名	目標	8	5	5
				実績	5	3	4
				目標達成率 (%)	75%	63%	80%
必要性の点検	②			目標			
				実績			
				目標達成率 (%)			

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット (内容、程度等)
	業務に必要な専門的知識を身につけることは派遣される職員個人の能力向上に加え、その知識を職場に還元することで組織力の向上にもつながる。 また、職員及び組織力の向上により、迅速かつ正確な業務遂行が図られ住民サービスの向上にもつながる。

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した	<input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った
(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由		
受講を予定していた研修科目と派遣する職員の日程間で調整ができた。		
実現性の点検	(1) 事業への反映	(具体的な内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	業務に必要な専門知識を身につけることができ、住民サービスの向上へつながる。
(2) 公共性の評価		(具体的な内容)
実現性の点検	本研修及び調査・研究を通じて <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	業務に必要な専門知識を身につけることができ、住民サービスの向上へつながる。

5 今後の方向性

必要性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
有効性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実現性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
具体的な内容					